

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 愛誠会 トミーズ		
○保護者評価実施期間	2025年12月13日		～ 2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年12月13日		～ 2026年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの健康発達における共有理解の深さ	送迎時は、子どもの日々の成長に関する内容や出来事について、些細なことでもできるだけ多く話をする中で、沢山の情報を共有できるようにしている。	連絡帳や限られた送迎時間の中でも、密に情報共有ができるようにしていく。必要に応じて面談を行いながら、保護者様の悩みや相談をいつでも申し入れしやすい環境を作っていく。
2	こどもが楽しく通うことができる環境提供	トミーズが楽しく、安心できる場所であるよう、職員は基準以上の体制を整え、手厚いきめ細やかな支援が受けられるようになっている。活動やお散歩、食事時間など、安全に過ごせる環境のもとで、それぞれの子どもの成長発達に見合った活動内容を取り入れられている。	安心・安全に過ごすことができる環境の提供や、偏りのないプログラム構成をしながら、健全に過ごせるような配慮をしていく。
3	こどもや保護者のニーズに焦点を合わせた支援計画書の作成と支援	モニタリング、新規個別支援計画書の作成時には、保護者から十分なヒヤリングをした上で、焦点に合わせた計画書の作成ができるようにしている。職員同士の意見・情報共有も常々行っている。	具体的目づ、分かりやすい個別支援計画書の作成と、PDCAサイクルによる適切な支援の提供を心がけていく。計画書作成時に限らず、保護者の方々と顔を合わせる中で、保護者様の話や希望を伺いながら、支援に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流に関する情報提示が弱い	地域の公園や広場、イベント開催時には、他のお子様や大人と交流する機会を設けているが、どの程度の関わりができていのか保護者に伝えきれていない。	地域住民との関わりや、公園やイベントにてどのような交流をしているのか、保護者との情報共有の中で詳しくお伝えすることで、活動の機会を知ってもらえるようにしていく。
2	兄弟交流ができる行事の情報提供が薄い	親子遠足やクリスマス会では、兄弟での交流ができる機会となっていることをお知らせにて詳しく伝えきれていない。	定期的に交流する機会が設けられている件について、新規契約者、既存の利用者共に、保護者への情報提供を行っていく。
3			